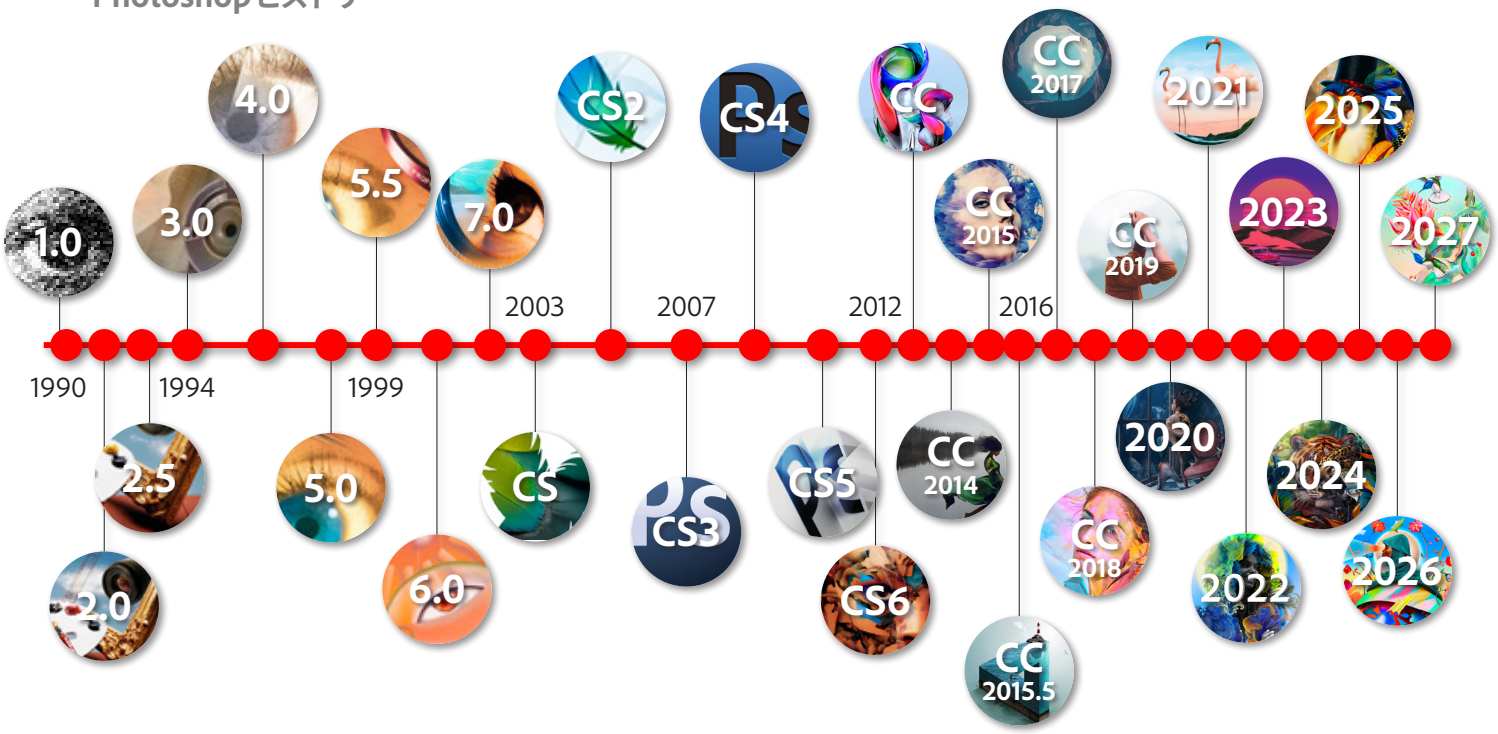
Adobe

Adobe Photoshop

互換性ガイドブック 2027

Photoshopについて

Photoshopヒストリー



バージョン表記について

2013年リリースのバージョン表記 Photoshop CC 14.0 ▶ 2014-16年リリースのバージョン表記 Photoshop CC 2014 15.0.0 ▶ 2018年リリース以降のバージョン表記 Photoshop 28.0

Adobe Photoshop

28.0.0 リリース

ドキュメントファイルでバージョンを確認する方法

作成バージョンの情報はドキュメントファイルに記載されます

ファイル情報（メタデータ）：作成アプリケーション



Photoshopの互換性ポリシーと注意点

互換性ポリシー

保存時に互換性に配慮
「互換性を優先」のチェックをオン：統合画像を一緒に保存します。
開く際に意図したレンダリング結果を選択することができます。

※以前のバージョンのPhotoshopを使用して画像を開く際に統合画像を選択しない場合、
条件によってサポートされていない機能が破棄される場合があります。

表示（レンダリング）結果が変更される可能性のある機能

- アートボード
- レイヤーグループ：レイヤースタイル、クリッピングマスク
- 複数のレイヤー効果
- 調整レイヤー：カラールックアップ
- テキストレイヤー
- 描画モード：減算、除算
- カラーライブラリ（カラーブック）：TOYO COLOR FINDER、Pantone+ など

※TOYO COLOR FINDERに含まれるカラー指定を使用したドキュメントをPhotoshop 2020以降で開くと、「このドキュメントには、インストールされていないカラーブックへの参照が含まれています。」という警告表示が出ます。「OK」ボタンをクリックすると、多くの場合カラー値が変更されてしまいます。
※ライセンスモデルの変更に伴い、Pantoneカラーブックは提供されなくなりました。Pantoneカラーをご使用のお客様は、PantoneライセンスをAdobe ExchangeのPantone Connectプラグイン経由で入手してください。

統合画像

統合画像は、互換性の懸念はありません。
必要に応じて統合画像にして入稿することで、安全にデータ交換が可能です。

Photoshopの互換性ポリシーと注意点

統合テキストエンジンの搭載とPostScript Type1フォントのサポート終了

Photoshop 2022（v 23）以降搭載されている新しい統合テキストエンジンは、従来のテキストエンジンに代わるもので、アラビア語、ヘブライ語、インド語、日本語、中国語、韓国語など、世界中の言語およびスクリプトの高度なテキスト入力機能を提供します。

それに伴い、PostScript Type 1フォントのサポートを終了し、Photoshopのフォントメニューには PostScript Type 1フォントが表示されなくなりましたのでご留意ください。既存のドキュメントに使用されている場合、「環境にないフォント」扱いになり、正しく再現できなくなります。
PostScript Type1フォントが使用されているドキュメントがある場合には、あらかじめOpenTypeなどサポートされるフォント形式に置き換えるなどの対処をおすすめします。
なお、フォントによっては、フォント形式の変更に伴い仕様が変更されているものもあります。詳しくは開発元のフォントメーカーにお問い合わせください。

ドキュメントを開く前に、ドキュメントに使用されているフォントの一覧を確認したい場合、少なくともCS2以降で作成されたものであれば、ドキュメントのメタデータを参照することで使用フォントの一覧を確認できます。Adobe Bridgeのメタデータパネルでは、フォント形式の確認まではできませんが、メタデータそのものにはフォント形式の記載がされています。
詳細を確認したい場合、Adobe Bridgeのファイルメニュー＞ファイル情報＞Rawデータで 、<xmpTPg:Fonts>タグ以下を参照してください。
<stFnt:fontType>Type 1</stFnt:fontType>というタグが記述されたものがあれば、PostScript Type1フォントが使用されています。

詳しくは下記をご参照ください。

PostScript Type 1 フォントのサポート終了
https://helpx.adobe.com/jp/fonts/kb/postscript-type-1-fonts-end-of-support.html

クラウドドキュメント

PSDC形式

Photoshop iPad版、Photoshop web版およびFrescoは、クラウドドキュメント（PSDC形式）がネイティブ形式になります。基本的にアプリケーション間の相互運用が可能です。

PSDC形式は、Photoshop（PSD）形式とほぼ同等ですが、クラウドサービスに最適化されています。対応する機能がPhotoshop iPad版、Frescoで一部異なることから、互換性には注意が必要です。ほとんどの場合正しく表示再現しますが、未対応の機能は読み取り専用になり、表示のオン・オフのみが可能で、編集ができない可能性があります。

Frescoで作成されたレイヤーは基本的にスマートオブジェクトとして認識されます。

ライブブラシはFresco固有の機能のため動作は異なりますが、Photoshopでレイヤーを編集することは可能です。Photoshop iPad版では、Frescoで作成したレイヤーは編集できません。

Frescoは、RGB・8bit/チャンネルのドキュメントのみをサポートしています。アートボード機能には未対応のため、アートボードが設定されているドキュメントは開くことができません。

主な機能比較

	Photoshopデスクトップ版	Photoshop iPad版	Photoshop web版
スマートオブジェクト	○	○	○
レイヤーマスク	○	○	○
レイヤー効果	○	○	○
調整レイヤー｜トーンカーブ	○	○	○
調整レイヤー｜色相・彩度	○	○	○
色調補正プリセット	○	×	○
クリッピングマスク	○	○	○
レイヤーグループ	○	○	○
オブジェクト選択ツール	○	○	○
削除ツール	○	○	○
被写体の選択	○	○	○
背景を削除	○	○	○
生成塗りつぶし、生成拡張	○	○	○
Camera RAWフィルター	○	○	○
ニューラルフィルター	○	×	×
CMYKカラー	○	×	×

※2026年10月現在の仕様です。今後アプリケーションのアップデートによって変更される可能性があります。

以前のバージョンとの互換性：主なデータの互換性一覧

	2027	2026	2025	2024	2023	2022	2021	2020	CC2019	CC2018	CC2017	CC2015.5	CC2015	CC2014	CC(14)	CS6
アートボード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
レイヤーグループ｜レイヤースタイル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
レイヤーグループ｜クリッピングマスク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
レイヤーグループ｜レイヤーのネスト（10段）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
生成レイヤー	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
シェイプレイヤー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リライトレイヤー	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
回転レイヤー	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
フレームレイヤー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△
複数のレイヤー効果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
描画モード｜減算、除算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
調整レイヤー｜ライト	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
調整レイヤー｜明瞭度とかすみの除去、粒子	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
調整レイヤー｜自動補正オプション	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スマートオブジェクト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スマートオブジェクト｜リンクを配置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
スマートオブジェクト｜スマートフィルター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スマートオブジェクト｜ニューラルフィルター	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
スマートオブジェクト｜ぼかしギャラリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△
スマートオブジェクト｜Camera RAWフィルター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
スマートオブジェクト｜ゆがみ、広角補正、照明効果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スマートオブジェクト｜油彩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
スマートオブジェクト｜パペットワープ、レンズ補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイナミックテキスト	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
字形	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△
ビデオ：レイヤー、トランジション、オーディオ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アニメーション	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
解析LOG	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32ビットモード（HDR）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※△は、表示しただけの状態では正しくデータ再現します。編集不可能か、あるいは編集すると表示結果が異なる可能性があります。

印刷用途に適した画像形式

	カラーマネジメント	ファイルサイズ	互換性	クリッピングパス
Photoshop（PSD）	○	可逆圧縮のため、JPEGのようには小さくできません。	注意が必要な場合があります。	○
JPEG	○	非可逆圧縮で小さくできます。*	○	○ （Illustratorは未対応）
TIFF	○	可逆圧縮のため、JPEGのようには小さくできません。	○	○
PDF	○	JPEG圧縮で小さくできます。*	○	○
EPS	×	JPEGエンコーディングで小さくできます。*	注意が必要な場合があります。	○

* 圧縮率を高くすると、画質が低下する懸念がでます。

デジタルコンテンツに適した画像形式

	画像形式	圧縮方式	特　徴	透明処理
JPEG	ビットマップ	非可逆圧縮*	写真（連続階調）画像に最適	不　可
WebP	ビットマップ	非可逆圧縮*	写真（連続階調）画像に最適	アルファ
PNG	ビットマップ	可逆圧縮	色の境界がはっきりした画像に向いています	アルファ
GIF	ビットマップ	可逆圧縮	256色まで	1色のみ透過指定可能
SVG	ベクター	圧縮も可能	マークアップ言語（XML）	可　能

* 圧縮率を高くすると、画質が低下する懸念がでます。

アドビ株式会社　〒141-0032　東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー
Adobe, the Adobe logo, Creative Cloud, the Creative Cloud logo and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. Microsoft, Opentype, and Windows are registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. Mac, macOS and Macintosh are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.
© 2026 Adobe. All rights reserved.